

○ナガハシスミレの白花品 (上野雄規) Yūki UENO: A white-flowered form of *Viola rostrata* (Violaceae)

*Viola rostrata* ナガハシスミレは北アメリカ東部とわが国の北海道・本州に分布する多年草で、日本に産する Sect. *Trigonocarpae* タチツボスミレ節の中で最も長い距をもつ種である。本種の花色は, form. *alpina* ミヤマナガハシスミレでかなり濃い紫色となるのを除けば, 多少の濃淡はあるものの一般的に淡紅紫色で安定している。

筆者は1974年、宮城県白石市鉢森山の2～3年生スギ植林地で、本種のまばらな群落の一角に3株からなる白花品を見出した。ところで、国立科学博物館植物標本室には、池上義信氏が越後赤谷（新潟県新発田市赤谷）で1948年5月2日に採集した白花品（TNS 79328）が1シートあり、これを中井猛之進氏が「*Viola longicalcarata* Franchet & Savatier f. *leucantha* Nakai 白花ナガハシスミレ」と同定している。しかしこの学名は発表されなかった。この白花品には、「ハシナガスミレ（筆者注：ナガハシスミレの誤記と思われる）の form. / 花まっ白、但し、弁の基に少し紫色 / 距はうすい紫色、……」という池上氏のノートがあるが、宮城県のものでは、花卉は距も含めてすべて純白であり、明らかな白花品と言える。このような白花品は、これまで記録がないと思われるので、新品種と認めシラユキナガハシスミレと呼ぶことにする。

*Viola rostrata* Pursh form. *albiflora* Y. Ueno, form. nov.

Flores albi.

Nom. Jap. Shirayuki-nagahashi-sumire (nov.)

Hab. Japan, Honshū, Miyagi-ken, Shiroishi-shi, Mt. Hachimori, alt. ca. 360 m [Kōri 403376-24] (Apr. 28, 1974, Y. Ueno—Holotype in TUS 69997).

(東北大学 理学部生物学教室)

□青葉 高：日本野菜，果菜類，ネギ類 162 pp. 1982. 八坂書房，東京．¥2,000. 著者は野菜類の専門家として有名である。その著者が日本の野菜について、その起原と伝播、品種、栽培の重点をあげて述べたもので、形態については触れて居ないが他書にゆづっている。また野菜の量が多いので、本書では果菜を主としてナス、トマト類、ウリ類、マメ類にイチゴ、トウモロコシ、オクラ、料理菊を加え、特殊な葉菜類としてネギ類とを挙げたが、葉菜類の主体と根菜類とは別巻にしている。中でも注意すべき事は、新旧を問わず適宜に書けているので、吾々の参考となることが多いと思われる。

(前川文夫)